

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和7年1月24日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和7年2月25日（火）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

キンメダイの種苗生産技術の開発・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(水産・海洋技術研究所 伊豆分場)

◎令和7年2月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・	15
県内大学生「若旅プロジェクト」による「七滝・踊子歩道」の音声ガイドが完成・お披露目会を実施します！・・・・・・・・	17
	(賀茂地域局)
賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第40回講座	21
	(賀茂地域局)
第2回異業種交流会「集まれ！賀茂で働く若者たち！」の開催について	23
	(賀茂地域局)
令和6年度地域おこし協力隊交流会・・・・・・・・	25
	(賀茂地域局)
「賀茂地域で輝く大人」紹介事業「賀茂のカリスマ」(カモスマ)第4弾	27
	(賀茂地域局)
2・3月の防災講座・・・・・・・・	28
	(賀茂地域局)
宿泊施設を活用した福祉避難所の設置訓練を行います	29
	(賀茂健康福祉センター)
下田総合庁舎での福産品販売会(第2回)の開催	33
	(賀茂健康福祉センター)
第16回伊豆農業研究センター公開デー	34
	(伊豆農業研究センター)
春季観光イベント期間における道路工事の自粛について	35
	(下田土木事務所)

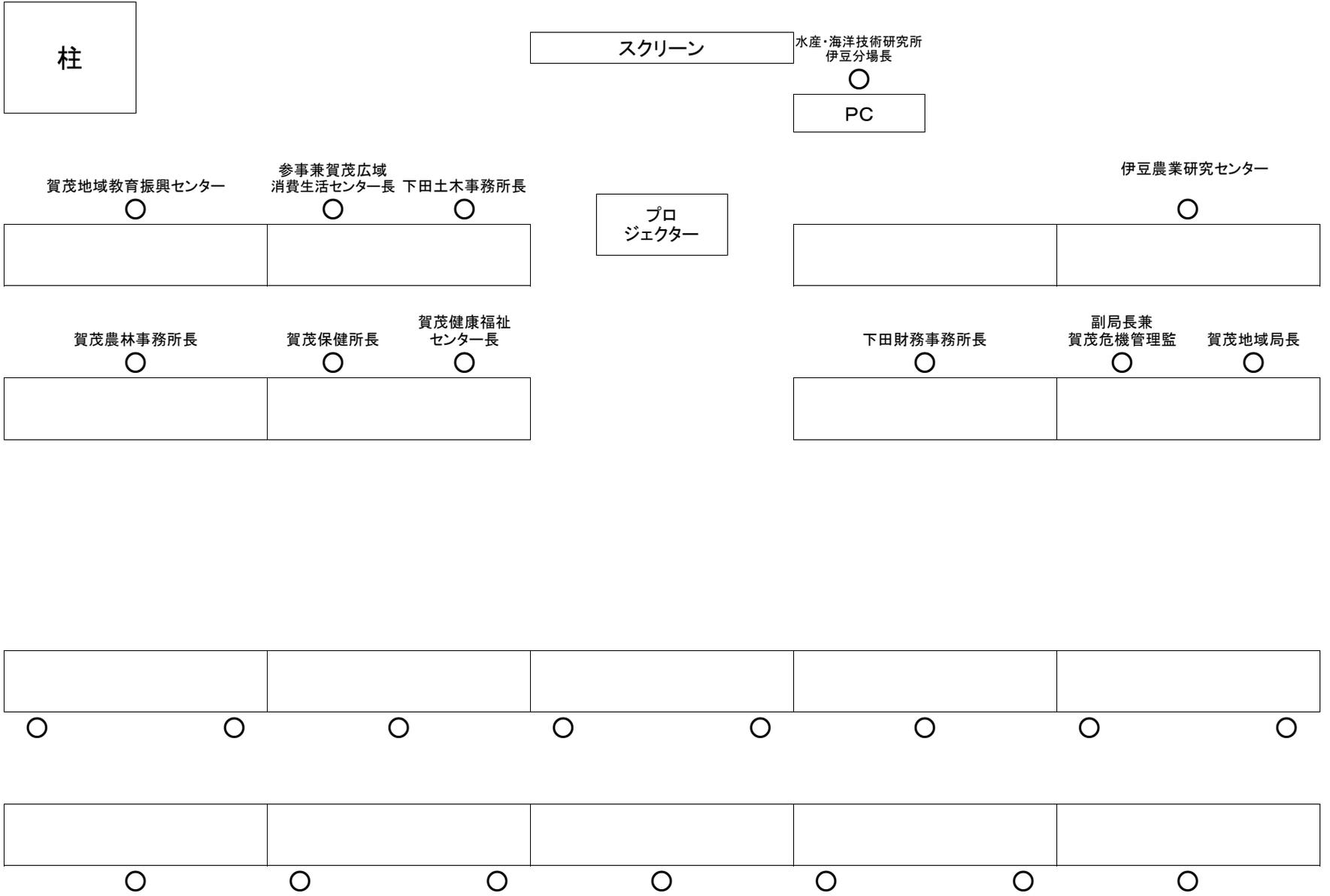
【別紙】河津桜の開花予測について	(伊豆農業研究センター)
------------------	--------------

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	やまなし よしゆき 山梨 義之
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	ふかの ちえこ 深野 智恵子
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ばば ふじお 馬場 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	わしやま ひろふみ 鷺山 裕史
10	下田土木事務所長	さとう まさふみ 佐藤 雅史
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂出納室長	まつなが としの 松永 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
14	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



出入口

記者席

令和7年1月24日
重要施策発表

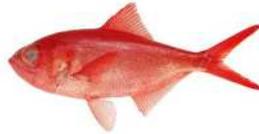
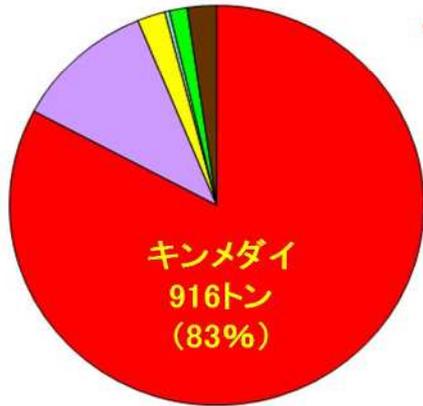
キンメダイの種苗生産技術の開発 ～人工的にキンメダイの稚魚をつくる研究～



静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場

キンメダイと伊豆地域

- 水深200～800mに棲む深海魚
- 伊豆地域の水揚げ量に占める割合が高い
- 地域の名産として観光業にも貢献



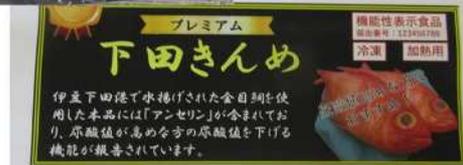
刺身



煮つけ



加工品
(土産)

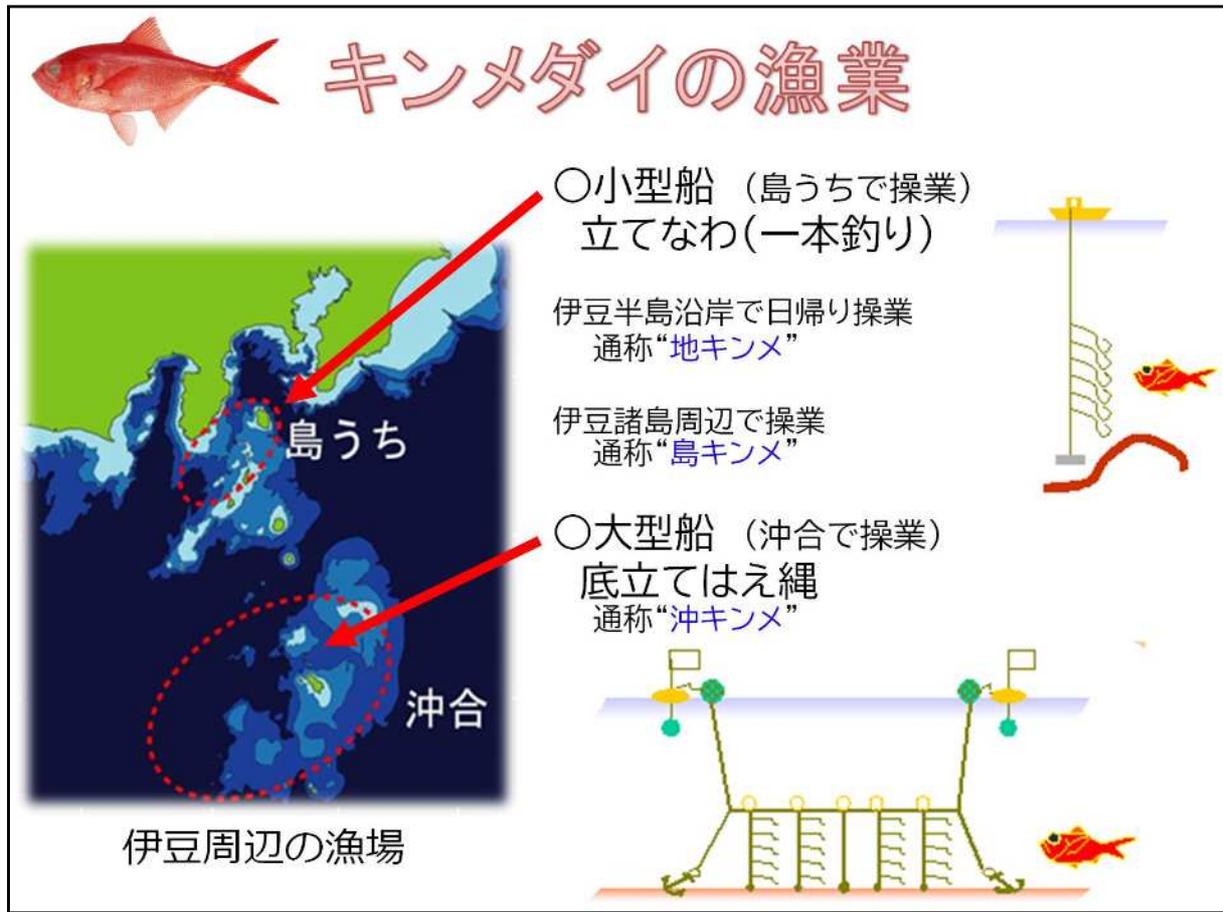


令和5年下田港水揚げ量 (合計1,106トン)
(水産・海洋技術研究所調べ)

キンメダイは、水深200mから800mの深海に棲む深海魚

伊豆地域の水産物の中では水揚げ量に占める割合が高く、下田港では水揚げ量の83%を占める。

見た目が美しく、味も素晴らしいので、地域の名産として観光業にも貢献。

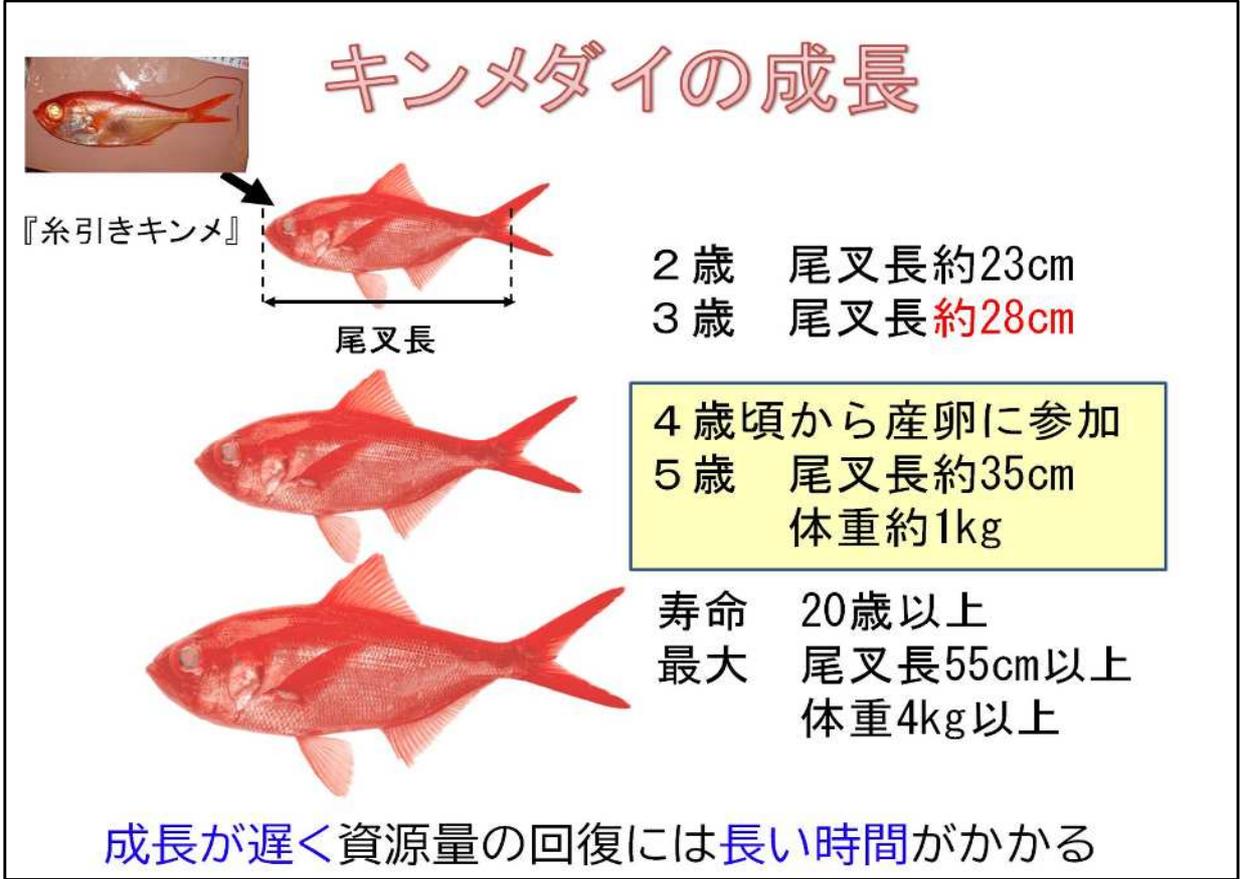


日本では、最大のキンメダイ漁場が関東沿岸から伊豆諸島周辺にあり、この周辺で静岡、東京、神奈川、千葉の1都3県が漁獲している。

小型の漁船は、伊豆半島近くの島うちと呼ばれる場所で、たてなわ、つまり一本釣りで操業している。

伊豆半島周辺の日帰り操業で漁獲したキンメダイは通称”地キンメ”、伊豆諸島周辺で漁獲したキンメダイは”島キンメ”と言う。

大型の漁船は伊豆諸島南方の沖合まで行き、底立てはえなわで数日間操業し、漁獲したキンメダイを”沖キンメ”と言っている。



幼魚は”糸引きキンメ”と呼ばれ、背びれの一部が糸のように伸びている。

2歳頃になると頭から尾びれの切れ目までの長さである尾叉長が約23cm、満3歳で約28cmになり、成熟が始まる。

4歳頃から産卵に参加し、5歳になると体重が約1kgになる。寿命は20歳以上で、これまでに確認された最高齢は26歳と推定されている。

キンメダイは成長が遅く、資源が減少してしまうとその回復には長い時間がかかるため獲りすぎに注意する必要がある。

キンメダイの資源管理

平成7年9月1日～



キンメダイ

資源管理計画スタート!

小型魚を保護して資源を守ろう。

そのために次のことを実行しましょう。

- 伊豆東岸と御前崎沖の漁場では、

全長 28cm 以下の魚は 放流する。	水深 200m 以浅の大陸棚では 操業しない。	夜間 操業しない。
------------------------------	----------------------------------	--------------

- 伊豆諸島の漁場では、1都3県の関係漁業者の申し合わせを守る。
- その他、地区の慣習や漁業者団体ごとの申し合わせを守る。

また、資源の調査にも積極的に協力しましょう。

静岡県漁業協同組合連合会

漁業者はキンメダイの取り過ぎを防ぐため自主的な決まりをつくり、資源管理を実施

キンメダイを捕りすぎないように、伊豆沿岸の漁業者は自主的に資源管理を行っている。

主な内容は、成熟前の28cm以下の小さなキンメダイは釣れても再放流する。

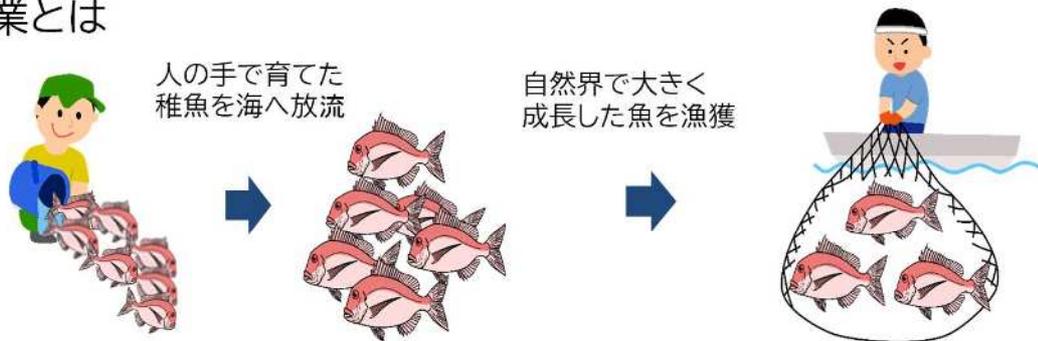
水深が200mより浅い場所は小さなキンメダイが釣れてしまうので操業しない。

夜間に釣ると釣れすぎてしまうので、夜間は操業しない。

キンメダイの栽培漁業

もっと積極的に資源を増やすことはできないか？

栽培漁業とは



× 人工的にキンメダイの稚魚をつくる技術は出来ていない

キンメダイ種苗生産研究(2016年～)

捕りすぎを防ぐこと以外で、人ができる方法として資源を積極的に増やす栽培漁業がある。

自然界では、魚は1尾の雌が数千～数億の卵を産むが、そのほとんどは「卵から稚魚まで」の間に他の生物に食べられて死んでしまう。

この間を人工的に育てて放流し、その後は海の生産力に任せて大きく育ったものを漁獲するのが栽培漁業。

県内の漁業者からは、稚魚を放流して、資源を増やして欲しいという要望が上がっている。

しかし、キンメダイではまだ稚魚を作る技術がどこにもない。そこで、伊豆分場では2016年度から稚魚の生産研究を開始した。

キンメダイ種苗生産技術開発研究

1. 親魚採捕



漁船で釣獲



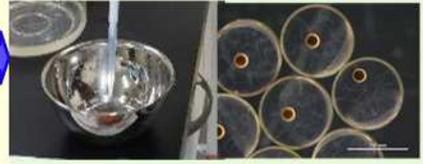
活魚運搬



採卵



2. 人工授精



人工授精

受精卵



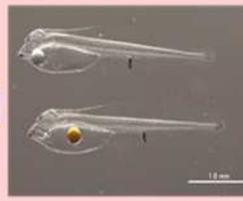
3. 仔魚飼育



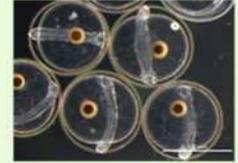
この先は未だ不明



仔魚(9日齢)



心化仔魚



発生(胚体)

それでは、現場が行っているキンメダイの種苗生産技術開発研究について説明する。研究は3つの段階がある。

1つ目は、受精させるための卵や精子をとるために成熟した親魚を捕ること。

2つ目は人工授精です。生殖腺が成熟した魚を活かした状態で卵と精子を採り、受精させること。

3つ目が仔魚飼育。

1 親魚採捕

課題: 親キンメダイを活きたまま持ち帰る

◎漁船を借上げて、漁師さんにキンメダイを釣り上げてもらう

産卵期: 夏～秋(盛期7～9月)

漁場: 伊豆半島沖
(新島沖、石廊沖など)

漁法: たてなわ

操業水深: 300～500m

(海山の切り立った崖)

・日の出から操業



たてなわで釣獲



はじめに、卵や精子をとるため、成熟した親魚をとる親魚の採捕。

親魚が死亡してしまうと、お腹を開いて精子や卵をとっても上手く受精しないため、受精させるまで魚を生かしておく必要がある。

しかし、深海魚のキンメダイは深海に生息しているので、釣りあげるとすぐ弱ってしまい、死んでしまう。

これまでは輸送中にほとんどが死んでいた。研究するためには、釣ったキンメダイをなるべく活きたまま持ち帰ることができるようにする必要がある。

1 親魚採捕 課題：親キンメダイを活きたまま持ち帰る

開発：p-アミノ安息香酸エチル麻酔を用いた運搬方法

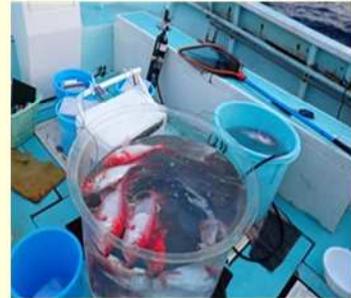
- ・ 麻酔（50ppm）状態 → 弱麻酔（15ppm）で麻酔状態を持続
- ・ 海水氷で13℃以下に保つ
- ・ 十分な酸素給気を行う



キンメダイを釣る



釣り上げた直後に
50ppmに漬けて麻酔状態にする



15ppmで麻酔状態を持続
（輸送中）

釣獲したキンメダイの約7～8割が生存

そこで、釣って直ぐに麻酔をかけることで、魚が暴れずに輸送することができるようになった。これにより、釣った魚の7～8割を活きたまま運ぶことができるようになった。

なお、長期飼育して成熟させ、卵を採る親魚養成の研究も焼津にある水産・海洋技術研究所の深層水科で深層水を利用して長期飼育できるようになり、成熟ホルモンを投与しているが、飼育下での卵巣の発達は未だ見られていない。

2人工授精

課題：雄（精子）と雌（卵）が同時に必要

人工授精の手順



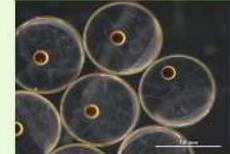
活魚で持ち帰り



採卵



人工授精(媒精)



受精卵

キンメダイの精子の冷蔵保存方法（保存液）を開発
→ 冷蔵精液があれば、卵だけで人工授精が可能になった



成熟雄から採精



冷蔵精子(4~5°Cで保存、30日以上運動活性を保持)



次に人工授精の段階。

活きたまま持ち帰ったキンメダイのうち、成熟した親から精子と卵を絞って受精させ、受精卵を得る。

このとき、卵と精子が同時に採れないと受精卵が得られない。

これまでは、精子だけ、卵だけしか採れなかったという場合があり、受精卵を安定的に得ることが出来なかった。

その対策として、新たに精子を冷蔵保存する方法を開発した。

精子を冷蔵保存しておけば、卵だけでも受精可能となり、安定的に受精卵を得られるようになった。

2 人工授精 (冷蔵精子の活用例)

県調査船でのキンメダイの採集と船上人工受精

(東京海洋大と共同研究)



静岡県沿岸・沖合漁業調査・指導船
「駿河丸」188トン(2022年2月竣工)



御前崎沖 (第2天竜海丘)

2023年7月24～25日

釣獲時間帯	雄※1	雌※1	不明※2	冷蔵保存精液 で人工授精
16:20-17:00	0	4	6	1R
22:10-22:30	0	2	6	2R
22:40-23:00	0	2	7	3R、4R
23:00-23:25	4	3	12	5R
計46尾	4	11	31	計5回分の 受精卵

※1 搾出で排卵、放精を確認

※2 搾出しても何も出ない

冷蔵精子が使えるようになった結果、効率的に受精卵を得ることができるようになった。
その一例を紹介する。

2023年7月に水産・海洋技術研究所の調査・指導船「駿河丸」を使い、東京海洋大学と共同研究で御前崎沖の第二天竜海丘（てんりゅうかいきゅう）でキンメダイの採集調査を行い、船上で人工授精を行った。

この時は23時まで精子が全く得られなかったが、冷蔵精子を使って、4回分人工受精させることができ、受精卵を得られた。

3 ふ化仔魚飼育

課題:仔魚の沈降と餌

飼育装置

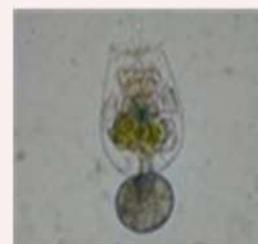
- ・上昇流を発生させる飼育水槽で仔魚の沈降を防ぐ
- ・100ℓ容の比較的大きな水槽で流水飼育 → 水質の維持
- ・ウォータバスで水温調整

餌

- ・親魚と仔魚の体の成分を比較した結果、親魚に比べ、魚にとって必要な栄養素のDHAが少なかった。
- DHAを多く与えた餌で飼育



キンメダイのふ化仔魚



◎餌：ワムシ
(動物プランクトン)
ワムシにDHAを多く含む餌を食べさせ、栄養を強化する



◎飼育水槽：サンライト水槽



ウォータバス

次に、ふ化仔魚飼育です。これが現時点の一番の課題になる。受精卵は浮いていますが、ふ化すると仔魚は沈んでいく。そのままにしていると水槽の底に溜まり、餌もとれずに死んでしまう。

これを解決するために、水槽内で上昇流を発生させ、ふ化仔魚を浮いた状態で飼育できる「サンライト水槽」を使い、水温を調整しながら飼育した。

また、餌の問題がある。これまでに、貝類の幼生などさまざまな餌を検討してきたが、どれもうまくいかなかった。

そこで、親魚と仔魚の体の成分を比較した結果、仔魚は魚にとって必要な栄養素のDHAが親魚に比べて少ないことが判明した。

今後は、ふ化した後の餌はマダイやヒラメのようにワムシという動物プランクトンを食べるということが分かったため、DHAを多く含む餌を食べさせ栄養を強化することにした。

3 ふ化仔魚飼育 (現状)

- 現状、多くはふ化後約10日齢までの生存にとどまる
- 最長生存記録は、駿河丸で採集、人工授精（4R）した受精卵を、東京海洋大学の館山ステーションで飼育した仔魚が33日齢まで生存（2023年共同研究）



9日齢



33日齢まで生存

写真 東京海洋大学提供

仔魚飼育に関してもいろいろなことが分かってきたが、現在のところ多くが、ふ化後約10日間の生存にとどまっている。

先ほど紹介した2023年7月に駿河丸で親魚を採集し、人工授精させた卵を共同研究先の東京海洋大学館山ステーションで飼育した4Rの卵が、33日齢まで生存したのがこれまでの最長記録。

今年度も同様に駿河丸の調査をしたが、残念ながら成熟したキンメダイは漁獲できず、漁船による採集調査で得られた受精卵のふ化仔魚も長く生存させることができなかった。

これまでの研究成果をふまえ、今後は稚魚まで生存させることを目指す。

まとめ 技術開発の現状と課題

「技術開発」

1 親魚採捕

- 麻酔を活用し、漁場から親魚を活かしたまま運搬可能に。

2 人工授精

- 精子の冷蔵保存方法（冷蔵保存液）を開発→卵だけでも人工授精可能

3 仔魚飼育

- 上昇流を発生させる飼育装置を使い、仔魚の沈降を防いだ。
- 仔魚は親魚と比べのDHA含有量が低いことが明らかに。
→ 餌の栄養強化（DHA添加）が必要であることが判明
- 駿河丸で採集し、船上人工授精で得られた卵を、共同研究先（東京海洋大学）で飼育した仔魚（33日齢）が最長生存記録。

「今後の課題」

- ふ化後の生存を改善し、稚魚まで生存させる技術開発

親魚採捕では、麻酔を活用し、漁場から親魚を活かしたまま運搬できるようになった。

人工授精では、精子の冷蔵保存方法を開発した。これにより、冷蔵精液があれば卵だけでも人工授精が行えるようになった。

仔魚飼育では、上昇流を発生させる飼育装置を使うことによって、問題となっていた仔魚の沈降を防ぐことができた。

また、仔魚は親魚と比べ、DHAの含有量が低く、餌の栄養強化が必要なことが分かった。

なお、これまでの最長生存記録は、駿河丸の調査で得られた親魚の受精卵を共同研究先で飼育した33日齢の仔魚であり、ふ化後の生存を改善し稚魚まで生存させることが課題である。

行事予定表（令和7年2月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	土					春季工事抑制 2/1～2/28
2	日					
3	月		入金機設置 インターネット公売入札 (不動産2件)～2/10			
4	火	防災講座 9:20-12:05 南伊豆東小学校 EBPM研修会 14:00-16:00 賀茂キャンパス				
5	水					
6	木					
7	金					
8	土					
9	日					
10	月		インターネット公売 最高価申込者公告			
11	火	音声ガイドお披露目会 10:00-12:00 河津七滝駐車場				
12	水					
13	木	第40回社会人講座 13:30-15:00 賀茂キャンパス				
14	金					
15	土	異業種交流会 14:00-17:00 賀茂キャンパス				
16	日					
17	月	防災講座 11:00-12:00 聖和保育園		減塩キャンペーン 10:00-12:00 マックスバリュエクスプレス下田銀座店		
18	火					
19	水					
20	木			下田総合庁舎福産品販売会 11:00-14:30 下田総合庁舎1階エントランスホール		
21	金	地域おこし協力隊交流会 14:00-17:00 賀茂キャンパス		病院及び老人福祉施設等 給食施設栄養士研修会 14:00-16:00 下田総合庁舎第4会議室		
22	土					
23	日					
24	月					
25	火	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
26	水					
27	木					
28	金			地域保健医療福祉活動研究会 13:30～ 賀茂キャンパス		

行事予定表（令和7年2月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	土	第16回伊豆農業研究センター公開デー 9:30-15:00 伊豆農業研究センター				
2	日					
3	月					
4	火					
5	水					
6	木					
7	金					
8	土					
9	日					
10	月					
11	火					
12	水					
13	木					
14	金					
15	土					
16	日					
17	月					
18	火					
19	水					
20	木					
21	金					
22	土					
23	日					
24	月					
25	火					
26	水					
27	木					
28	金					

**県内大学生「若旅プロジェクト」による
「七滝・踊子歩道」の音声ガイドが完成・お披露目会を実施します！**

(賀茂地域局)

(要 旨)

県内大学生で構成する「若旅プロジェクト」が、大学生の自主性や感性（若者目線）を活かした伊豆半島の魅力発信に向け、音声ガイドサービスの実装に取り組んできましたが、関係者の協力を得てこのたび完成しました。

令和7年2月11日（火）に以下のとおりお披露目会を開催します。

1 音声ガイドサービス

(1) サービス内容

QRをスマートフォン等で読み取ることで、観光地の景色を楽しみながら、音声を取ることが出来ます。（詳細は別紙資料のとおり）。

(2) 音声ガイドスポット（計7カ所）

猿田淵・釜滝、初景滝、大滝、出会滝、旧天城トンネル、河津七滝ループ橋、福田家（初景滝のみ音声があります。）

※聴取用のQRプレートについては、近隣のジオ看板等に設置します。

(3) 協力者と活動内容

- （一社）美しい伊豆創造センター及び（株）Otono と協働して、伊豆半島ジオパーク公式デジタルマップへの音声ガイドサービスの実装を行いました。
- 若旅プロジェクトメンバーは、候補地の選定、台本作成、キャスティング、レコーディング及び機能実装イメージの提案を実施。
- 音声キャストには、若旅プロジェクトメンバーの他、河津町に縁のある方々に収録をお願いしました。

【キャスト一覧（若旅プロジェクトメンバーを除く）】

- ・伊豆の踊子の宿 福田家女将 稲穂 照子氏
- ・伊豆ジオガイド協会 土屋 光示氏
- ・静岡県舞台芸術センター(SPAC) 山崎 皓司氏（演劇「伊豆の踊子」学生役）
河村 若菜氏（演劇「伊豆の踊子」踊子 薫役）



(候補地の視察)



(レコーディング)

2 お披露目会について

七滝・踊子歩道音声ガイドの完成にあたり、若旅プロジェクトメンバー8名によるお披露目会を開催する。

(1) 日時

令和7年2月11日(火) 午前10時50分から正午まで

(2) 場所

河津七滝駐車場(河津町梨本379-13)

(3) 対象

河津町にお住まいの小・中学生とその保護者の皆様

(4) 内容

- ・音声ガイドの説明
- ・音声ガイドスポット巡り(計4箇所)
①河津七滝ループ橋 ②大滝 ③出会滝 ④初景滝

(5) 申込方法

下記QRによるメール又は電話にてお願いいたします。

- ・QR:



- ・電話: 0558-24-2204

【参考】若旅プロジェクトとは

賀茂地域の更なる魅力発信を進めるため、県内大学生により構成する「若旅プロジェクト」大学生向けの賀茂地域力発信プロジェクトである。

平成30年度に発足し、令和4年度までは「大学生による地域の魅力を発信する旅行ツアー」を実施。令和5年度以後は、ツアーの企画等に限定せず、大学生の自主性や感性(若者目線)を尊重した取組を企画・実施している。

<令和6年度若旅プロジェクトメンバー(大学生)>

静岡県立大学: 6名 静岡文化芸術大学: 2名 計8名

取材いただける場合は、事前に以下担当まで御連絡ください。

担 当: 地域課 植田

連絡先: 0558-24-2204

七滝・踊子歩道

音声ガイド

始めました！

音声ガイドの使い方



①QRコードを
スマホで読み取る



②音声を聞く



③河津をもっと知る

音声ガイドスポット

初景滝 出合滝 釜滝・猿田淵 大滝
ループ橋 福田家 旧天城トンネル

ジオ看板のQRコードが目印！
QRコードから一覧ページを見てみよう

若旅プロジェクトって？

若旅プロジェクトは、賀茂地域の魅力を伝えるために
静岡県立大学・静岡文化芸術大学の学生と静岡県賀茂
地域局が協力して取り組むプロジェクトです。

2024年度は株式会社otono・美しい伊豆創造センター
の方々のサポートのもと、河津七滝地域にて観光をも
っと楽しくする音声ガイドを制作しました。



制作・協力：



若旅プロジェクト



Otono



美しい伊豆創造センター
The Izu Creative Center



静岡県

楽しみながら地域を学べる!

音声ガイド お披露目会

こんにちは!若旅プロジェクトの学生メンバーです。
このたび、河津七滝と周辺の魅力を伝える「音声ガイド」が完成しました!
イベントでは、みなさんに音声ガイドを体験していただきます。
ガイドを聞きながら、楽しく答えられる簡単なクイズもご用意しました!
興味のある方はぜひお申し込みください✨

日時

2025年 **2月11日** (火) 10:50~12:00

場所

河津七滝駐車場 (河津町梨本 379 - 13)

対象

河津町にお住いの小中学生とその保護者さま

募集人数

20名程度

持ち物

筆記用具

注意事項

- ・当日は歩きやすい靴でお越してください
- ・小さいお子さまの参加は、必ず保護者同伴でお願いします
- ・雨天中止 ※前日17時までに判断し、中止の場合はメールにてご連絡いたします

ご不明点やご質問ありましたら、以下の連絡先までご連絡ください

〈当日の流れ〉

- 01 音声ガイドの説明
- 02 音声ガイドスポット巡り

- ① 河津七滝ループ橋
- ② 大滝 ③ 出合滝 ④ 初景滝

〈若旅プロジェクトとは〉

賀茂地域の魅力を伝えるために静岡県立大学・静岡文化芸術大学の学生と静岡県賀茂地域局が協力して取り組むプロジェクトです
2024年度は株式会社otono・美しい伊豆創造センターのサポートのもと、音声ガイドを制作

お申し込み

お電話または、QRコードから
お申し込みください。

募集締め切り:2月10日(月)まで

電話番号

0558-24-2204

静岡県賀茂地域局地域課



令和7年1月24日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第40回講座

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第40回講座を令和7年2月13日(木)に実施する。

※参加費は無料(単発の参加可)

(概要)

日時	令和7年2月13日(木) 13:30~15:00
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに御協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科 観光マネジメントメジャー 教授 内海 佐和子 氏 演題：「ガストロノミーツーリズムと食文化 ～ベトナムを例に～」
対象	県民
参加費	無料
申込	右記QR：  電話：0558-24-2202 FAX：0558-24-2205 メール：kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp (氏名、職業、電話番号、参加人数の記入をお願いします。) いずれかの方法でお申込みください。
共催	静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 賀茂キャンパス活用推進委員会(静岡県賀茂地域局ほか)

担当：地域課 菅尾
電話番号：0558-24-2202

観光人材育成のための社会人講座
広く観光関連事業に携わっている方は是非ご参加下さい



参加無料

伊豆半島を 盛り上げよう!

働きながら学べる
最新の観光情報

賀茂キャンパス

社会人向けの講座を開催します!

2025.

2.13 Thu.

13:30~15:00

静岡県下田総合庁舎内
賀茂キャンパス
(下田市中531-1)

ガストロノミーツーリズムと食文化 -ベトナムを例に-

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科
経営情報学部 観光マネジメント メジャー 教授

講師 内海 佐和子氏



その土地の気候風土、食材、習慣、伝統、歴史などにより育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたガストロノミーツーリズム。まぎれもなく旅を彩る楽しみのひとつですが、そのガストロノミーツーリズムがかえって食文化を壊している!?30年以上にわたり、ベトナムをフィールドとして得た知見をベースに紹介していきます。

いずれかの方法で
お申し込みください。

電話:0558-24-2202

FAX:0558-24-2205

メール:kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

申込QR:



お問合せ

静岡県賀茂地域局 TEL:0558-24-2202

第2回異業種交流会「集まれ！賀茂で働く若者たち！」の開催について

(賀茂地域局)

1 目的

静岡県若手職員プロジェクトチーム「あげアゲ隊」では、今年度初の試みとして、令和6年10月26日（土）業種の垣根を越えた交流を目的に、賀茂地域で働く若者との交流会を実施した。

交流会の参加者からの定期的な開催を希望する声を受け、今回、下記のとおり異業種交流会を開催し、今後の人脈形成や新たなコミュニティの形成につなげるとともに、地域活性化の向上に資する。

2 実施内容

(1) 日時

令和7年2月15日（土）午後2時から午後5時まで

(2) 場所

賀茂キャンパス（下田市中531-1 静岡県下田総合庁舎 別館2階）

(3) 対象

賀茂地域で働く10～30代（管外に勤める賀茂地域在住者も可）

(4) 内容

- ・グループに分かれてトーク
- ・参加者全員でミニゲーム
- ・お知らせコーナー



第1回交流会の様子

※取材いただける場合は、事前に以下担当まで御連絡ください。

担 当：危機管理課 笹原

連絡先：0558-24-2004



集まれ！ 賀茂で働く 若者たち！

～第2回異業種交流イベント開催します～

2025.2.15 (土)

第1部 14:00～17:00

賀茂キャンパス

静岡県下田市中531-1 下田総合庁舎別館2階

参加費 300円

第2部 18:00～

下田市内飲食店

参加費 5,000円程度

第1部のみ、
第2部のみ
参加もOK

お申し込みはこちらから▶
申込締切: 2月7日(金)



※参加申込が多い場合は、期限前に締め切らせていただく場合があります。

プログラム

- 13:30 受付開始
- 14:00 第1部スタート
トークタイム・
お楽しみ企画など
- 17:00 第1部終了
- 18:00 第2部スタート



第1回の様子



お問合せ先

静岡県若手職員プロジェクトチーム あげアゲ隊

☎ 0558-24-2202 ✉ kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

地域おこし協力隊交流会の開催について

(賀茂地域局)

1 要旨

賀茂地域1市5町では、現在50名（県全体約120名）の地域おこし協力隊がおり、それぞれが各市町で活動しているが、これまで市町の枠を越えた交流の機会があまりなかったため、令和6年3月に初めて交流会を開催した。

アンケート結果を踏まえ、賀茂地域の協力隊の不安解消、人脈形成や事業展開につなげ定住率の向上に資するため、今年度は協力隊OBOGを含めた交流会を下記のとおり開催する。

2 開催内容

(1) 日時

令和7年2月21日（金）午後2時から5時まで

(2) 場所

賀茂キャンパス（静岡県下田総合庁舎 別館2階）

(3) 対象

賀茂地域で活動する地域おこし協力隊（現役・OBOG）

(4) テーマ

悩みの種からアイデアの花を咲かせよう！

(5) 内容

①地域おこし協力隊OGによる講演（40分）

講師：合同会社小村商店 代表 小村 麻衣花 氏（西伊豆町地域おこし協力隊OG）

②グループに分かれて意見交換（35分×3回）※毎回グループ変更

③参加者からのお知らせ、感想（15分）

(6) 意見交換の内容

① 自己紹介（経歴・現在の活動紹介）

② 特技、コラボしたいこと・コラボできそうなこと

③ 困っていること、悩みごと（生活面・仕事面等）

④ 卒業後の活動（OBOG）、卒業後のビジョン（現役） など

※取材いただける場合は、事前に以下担当まで御連絡ください。

担 当：地域課 野村

連絡先：0558-24-2202

地域おこし協力隊 交流会

先輩の経験談を
聞いて悩みを
解消！

近隣市町の
協力隊と
意見交換！

コラボ活動の
きっかけに
なるかも！

テーマ

悩みの種からアイデアの花を咲かせよう！

お申し込みは
こちらから！

申込期限
2月7日（金）



対象

賀茂地域で活動する地域おこし協力隊（現役・OBOG）

講師



こむら まい か
小村 麻衣花 氏

合同会社小村商店 代表
（西伊豆町地域おこし協力隊OG）

講演テーマ

起業？開業？就職？
3年後のビジョンが明確にならぬまま
着任した私が起業を決意するまで

・プログラムについては、多少変更する可能性があります。
・当日は記者の取材が入る可能性があります、あらかじめご了承ください。
・懇親会の会場は参加者決定後にお知らせします。

令和7年
2月21日 金
14:00~17:00

賀茂キャンパス
（下田市中531-1 下田総合庁舎別館2階）

プログラム
（予定）

13:30 受付開始
14:00 開会
協力隊OGによる講演（40分）
グループトーク
17:00 閉会
18:00 懇親会

問い合わせ先

静岡県賀茂地域局（担当：野村）

0558-24-2202
kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

「賀茂地域で輝く大人」紹介事業「賀茂のカリスマ」(カモスマ) 第4弾

(賀茂地域局)

1 要 旨

賀茂地域で活躍している大人を「賀茂のカリスマ」(カモスマ)として紹介・発信する事業の第4弾として、賀茂地域の魅力を発信し、他地域から人を呼び込んでいる大人に焦点を当て、各市町から1人ずつ計6人紹介する。

2 事業内容

(1) 目的

進学等で一度は地元を離れても、将来的に地元で働くことが選択肢の一つになるようきっかけづくりを行う。

(2) 紹介する「賀茂のカリスマ」(カモスマ) <第4弾: カモン! カモスマ> ※敬称略

	氏 名	会社名	市町名	公開予定
1	梅田 直樹	合同会社 local is beat	下田市	1月31日
2	高橋 美和子	長田建設工業(株)/KairIZUbrain	南伊豆町	2月7日
3	土屋 光示	伊豆半島ジオパーク認定ジオガイド	河津町	2月14日
4	鈴木 香織	(株)熱川自動車/ほし★そらシネマ IZU	東伊豆町	2月21日
5	神 健一	伊豆まつざき田舎暮らしサポート隊	松崎町	2月28日
6	小村 麻衣花	合同会社小村商店	西伊豆町	3月7日

(3) 紹介方法

令和7年1月31日(金)から毎週、県公式YouTubeチャンネル(19ch 賀茂のカリスマ)で動画を配信する。あわせて、効果的な広報を行うため、地元紙(伊豆新聞)、地元ケーブルテレビ各社等により地元住民への発信を行う。



↑ 1/31 公開動画サムネイル

↑ 県公式 YouTube チャンネル
賀茂のカリスマ再生リスト

担 当：地域課 野村
連絡先：0558-24-2202

定例記者懇談会資料

2・3月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	日時	場所	対象	内容等
①	2月4日(火) 9:20~12:05	南伊豆東小学校 (南伊豆町)	全校児童 約100人	○ 9:20~10:05 (2時間目) 5・6年生 風水害講座 ○ 10:25~11:10 (3時間目) 3・4年生 アプリを活用した防災講座 ○ 11:20~12:05 (4時間目) 1・2年生 サバイバルスキルアップ講座
②	2月17日(月) 11:00~12:00	聖和保育園 (松崎町)	保護者 約60人	サバイバルスキルアップ講座
③	3月11日(火) 10:00~11:00	聖和保育園 (松崎町)	3~5歳児 約40人	防災ダック 地震体験(車)

(お願い)

- ・ 防災講座の取材においては、各学校まで取材を行う旨をご連絡ください。
- ・ 講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・ 講座の内容に関するお問合せは、下記担当までお願いいたします。

担 当 : 危機管理課 鈴木
連絡先 : 0558-24-2004

宿泊施設を活用した福祉避難所の設置訓練を行います

(賀茂健康福祉センター)

(概要)

県では、自然災害発生時に要配慮者の二次的避難を受け入れる福祉避難所の拡充について、地元市町・民間関係者とともに各地域の実情に即した避難所設置モデルを定め推進する取組を進めています。

賀茂地域においては、恵まれた観光資源を念頭に、下田市、観光関係者、福祉関係者及び県が協働で、下田市と下田温泉旅館協同組合が平成28年に締結した協定をベースに、宿泊施設を福祉避難所として活用する仕組み「賀茂モデル」を策定し、それに沿った福祉避難所の設置促進を図ってきました。

今回、この「賀茂モデル」の取組の一環として、下田市とともに下田市内の宿泊施設における福祉避難所設置・運営のための実証等を目的に下記のとおり実地訓練を行います。

記

- 1 日時 令和7年1月30日(木) 午前11時30分から午後1時30分まで
- 2 会場 下田ビューホテル(下田市柿崎633)
- 3 参加者 下田市(防災安全課、福祉事務所)
静岡県(賀茂健康福祉センター、賀茂地域局)
下田温泉旅館協同組合 他
- 4 内容 別添資料のとおり
・宿泊施設への福祉避難所設置(賀茂モデル)訓練の内容
・訓練スケジュール
- 5 その他 当日午前10時30分から1時間の予定で、下田市役所河内庁舎において避難所設置等の市職員による第1部訓練を実施します。

(参考) 賀茂モデルについて

賀茂地域は、観光資源が豊富で、宿泊施設が多数存在していることから、個室や寝具等が整った宿泊施設を、自然災害発生時に避難所として活用できれば、被災者の安全・安心の確保に非常に有効な方策となり得ます。

そこで、下田市、観光関係者、福祉関係者及び県で協議した結果、宿泊施設の資源を、有事に、配慮が必要な方に福祉サービスの提供を行える二次的避難所として活用することに取り組んでいくべきと結論づけ、下田市が平成28年4月に下田温泉旅館協同組合との間で締結した「災害時における避難所としての使用に関する協定」をベースに、宿泊施設への福祉避難所設置を普及させるため、設置の仕組みとして「賀茂モデル」を策定しました。

担当：福祉課福祉こども班
連絡先：0558-24-2055

訓練スケジュール

(第1部)

番号	予定時間	訓練内容
1	10:30 ～11:30	(避難所開設及び要配慮者トリアージ訓練)(下田市役所河内庁舎) ① 避難所の開設 ② トリアージの実施により、福祉避難所への移送を決定

(第2部)

番号	予定時間	訓練内容
1	10:30	県・市担当職員が会場ホテルへ集合
2	11:30	訓練開始(※ 訓練行程3～8が訓練内容)
3	11:30 ～11:40	① 市→ホテル(「避難所の開設依頼」(電話)) ② ホテル→市(「避難所開設可の報告」(FAX))
4	11:40 ～11:50	③ 市→ホテル(3人の要支援者と家族(妊婦、乳幼児、高齢者(車椅子使用))の受入要請(FAX)) ④ ③を受け、受入に係るDWA Tのスクリーニング ⑤ ホテル→市(「3人の受入れ可」の旨の報告(電話)) ⑥ ホテルにおける要支援者3人の受入れ準備開始
5	11:50 ～12:00	⑦ 市→県(「福祉避難所開設に向けた状況確認等結果報告」(FAX)) ⑧ 市(移動(12時出発)の準備)
6	12:00 ～12:10	⑨市(3人の要配慮者とその家族を、市役所河内庁舎からホテルへ移動開始)[妊婦 12:00 発、乳幼児 12:05 発、高齢者 12:10 発]
7	12:15 ～13:00	⑩要支援者が、ホテルへ到着後、各々受付業務を開始 ⑪受付終了後、(避難所のルール等を説明し)居室へ案内
8	13:00 ～13:25	⑫妊婦が発熱(想定) ⑬駐在保健師が妊婦の状態を確認 ⑭駐在保健師が医師へ妊婦の状態を報告し、診察を依頼 ⑮医師の診察を行い、今後の処遇を指示
9	13:30	訓練終了
10	14:00 ～15:00	反省会の実施

※ 本表においては「賀茂健康福祉センター」を「県」、「下田市」を「市」、「下田ビューホテル」を「ホテル」とそれぞれ記す。

令和6年度宿泊施設への福祉避難所設置(賀茂モデル)訓練の内容

1 目的

平成29年3月に作成した「宿泊施設を活用した福祉避難所設置モデル(賀茂モデル)」に基づき、下田温泉旅館協同組合員施設における情報連絡や受入体制手順等を確認し、具体的な検証を行うことで、災害時の福祉避難所設置に関する関係者の対応に係る資質の向上を図る。

なお、今年度は、会場を市役所と宿泊施設に分けた2部構成の訓練とする。

2 日時

令和7年1月30日(木)

第1部 市役所での避難所開設及び要配慮者トリアージ訓練

午前10時30分から午前11時30分まで

第2部 宿泊施設での福祉避難所設置訓練

午前11時30分から午後1時30分まで

3 会場

第1部 下田市役所河内庁舎(下田市河内101-1)

第2部 下田ビューホテル(下田市柿崎633)

4 想定

非常に強い勢力をもつ台風5号は、西日本に上陸した後、伊豆半島西部から下田市をかすめて北東に進む進路をとった。台風本体の発達した雨雲の影響で非常時に激しい降雨をもたらし、降り始めからの累積降水量は250mmを超えている。

被害は、全市に及んでいるため、市は災害対策本部を設置し、土砂災害の危険性が低い箇所に残る避難所を全て開設した。

市内全域で床上浸水の発生やがけ崩れの危険性が増しており、多くの住民が、各地区の避難所に避難している。今後も、避難生活の長期化が想定されるため、高齢者等の要支援者は、福祉避難所への避難が必要な状況になっている。

5 参加機関

下田市、静岡県、下田温泉旅館協同組合加盟宿泊施設、福祉関係機関

6 重点項目

- (1) 避難所の開設、賀茂モデル事前配備体制の確認
- (2) 福祉避難所と下田市との連絡体制の確認
- (3) 福祉避難所までの移送体制の確認
- (4) 福祉避難所での受入体制の確認
- (5) 福祉避難所での感染症発生に係る確認

7 訓練概要

(1) 第1部

- ① 災害発生を受け、災害対策本部を設置し、避難所開設
- ② 避難者のトリアージによる要配慮者の把握

(2) 第2部（床上浸水等の災害発生から1日経過後を想定）

- ① 交通手段、通信手段は確保されている中で、下田市において福祉避難所の状況把握（建物被害、備蓄、人員不足等）を行うとともに、開設状況を賀茂健康福祉センターに報告
- ② 下田市から宿泊施設に対し、避難者受入れの要請（想定ケース：妊婦と配偶者、乳幼児と保護者、高齢者（車椅子使用）と付添人）各ケースについて、宿泊施設へ移送（車両）
- ③ 宿泊施設で避難者の受入れ
- ④ 体調不良者発生による医師の診察

(3) 反省会の実施

8 中止対応について

下記の事象が発生した場合は、訓練を中止する

- (1) 南海トラフ地震臨時情報が発表された場合
- (2) 下田市内で震度4以上の地震が発生した場合
- (3) 静岡県に津波警報又は津波注意報が発表された場合
- (4) 下田市内に気象警報（高潮・波浪を除く）が発表された場合
- (5) 富士山又は伊豆東部火山群の火山活動に異常が認められる場合
- (6) その他、中止することが必要と判断される事象が生じた場合

9 連絡先一覧

NO	機関名	住所	電話	FAX 番号
1	下田ビューホテル	下田市柿崎 633	0120-289-489	0558-22-6604
2	下田市福祉事務所	下田市東本郷一丁目 5-18	0558-22-2216	0558-22-3910
3	下田市防災安全課	下田市河内 101-1	0558-36-4145	0558-27-1007
4	県賀茂健康福祉センター福祉課	下田市中 531-1	0558-24-2055	0558-24-2159

令和7年1月24日

定例記者懇談会資料

下田総合庁舎での福産品販売会（第2回）の開催

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

障害のある人が福祉施設等で心を込めて手づくりしている福産品の購入を通じて、障害のある方の就労や生活の支援をするため、下田総合庁舎において、縫製品、野菜、パンなどの販売会を開催します。

(概要)

- 1 日 時 令和7年2月20日（木） 午前11時～午後2時30分
- 2 会 場 静岡県下田総合庁舎1階エントランスホール
- 3 出店事業所・主な販売品目

	事業所	所在地	主な販売品目
(1)	すぎのこ作業所	下田市	陶芸、木工、手芸品
(2)	ワークあおぞら	〃	木工品、縫製品
(3)	東伊豆ワークセンター	東伊豆町	木工品、縫製品
(4)	あしたば作業所	南伊豆町	野菜、縫製品
(5)	おっけい	〃	コーヒー・コーヒー豆
(6)	ワークショップマナ	西伊豆町	パン、クッキー

(参考)

第1回の概要

- 日 時 令和6年9月5日（木）、6日（金） 午前11時～午後3時
会 場 同上
出店者 10事業所

担 当：福祉課 小田
連絡先：0558-24-2055

令和7年1月24日

定例記者懇談会資料

第16回 伊豆農業研究センター 公開デー

静岡県農林技術研究所
伊豆農業研究センター

(目的)

伊豆農業研究センターでは、日頃の試験研究成果を広く県民の皆様にお知らせするため、公開デーを開催します。当日は、施設の一部を一般開放するとともに各種研究成果の展示、新しいカンキツ類の試食（食味調査）を行います。

(概要)

1 日時 令和7年2月1日（土曜日） 午前9時30分から午後3時

2 場所 伊豆農業研究センター 賀茂郡東伊豆町稲取 3012

3 内容

(1) 研究施設（温室、ほ場）の公開

(2) 試験研究新技術展示

・【予約制】 研究員・普及指導員による講演

①カーネーションの出荷予測 11:00～11:30

②イチゴ‘きらび香’未分化定植本ほ増殖法の開発 13:30～14:00

③イチゴ‘きらび香’超促成作型の開発について 14:00～14:30

※講演時間は予約状況により変更する可能性あり

・研究成果の動画上映、パネル展示

・ワサビ、花きの育成品種展示

(3) カンキツ類新品種の試食【予約制】

開始時間 10:00、10:30、11:00、11:30、13:00、13:30

※試食は30分毎に最大15人/回で実施します

※予約制の企画は下記申込フォームか電話でお申し込み下さい。

定員に達し次第締切ります。

※農産物の販売は行いません



HP



申込フォーム

【問合せ】伊豆農業研究センター

賀茂郡東伊豆町稲取 3012

電話 0557-95-2341

FAX 0557-95-0533



普段は目にすることがない、多様なミカンや花、ワサビをご覧ください

第16回 伊豆農業 研究センター 公開デー

2025. **2.1** 土
9:30~15:00

伊豆農業研究センター
(東伊豆町稲取3012)

参加費用 無料

柑橘の試食会

[予約制] [各回先着15人]

*定員になり次第、随時締め切り

30分ずつの入れ替え制で実施!

●10:00 ●11:00 ●13:00

●10:30 ●11:30 ●13:30

柑橘や花、ワサビの新品種展示、
研究成果のパネル展示

温室やほ場の公開
(防疫上、一部制限あり)

農業者向け講演会(詳細は後日案内)

申し込み先

電話はこちら▶0557-95-2341

QRコードからはこちら▶



【予約制】研究員による講演

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ①カーネーションの出荷予測 | 11:00~11:30 |
| ②イチゴ‘きらび香’未分化定植本ぽ増殖法の開発 | 13:30~14:00 |
| ③イチゴ‘きらび香’超促成作型の開発について | 14:00~14:30 |

※申込は試食会と同じ電話か QR コードから

春季観光イベント期間における道路工事の自粛について

(下田土木事務所)

(目的)

春季観光イベント時期の車両増加を考慮し、周辺道路の円滑な車両交通の確保を図るため、工事施工業者及び占用工事関係者の方々の協力の下、車線規制を伴う道路工事を自粛する。

(概要)

1 期間及び時間帯

期間 令和7年2月1日(土)から令和7年2月28日(金)まで

時間 午前6時から午後8時まで

2 工事自粛の対象路線

- ・一般国道 135号(下田土木事務所管内全線)
- ・一般国道 136号(下田市中島橋交差点～南伊豆町下賀茂交差点)
- ・一般国道 414号(新天城トンネル～下佐ヶ野交差点)
- ・主要地方道 下佐ヶ野谷津線(全線)
- ・一般県道 稲取停車場線(全線)
- ・一般県道 稲取港線(全線)

3 工事自粛の内容

- ・対象時間帯においては、車線規制を伴う工事を自粛し、車線規制は資機材搬入等一時的なものに限定する。
- ・車線規制を伴わない工事の際は、道路工事着手前と同等の車道幅員を確保する。
- ・以上のとおり道路工事を自粛し、円滑な車両交通の確保に努める。ただし、災害等緊急を要する工事についてはこの限りではないものとする。

担 当 維持管理課管理班
連絡先 0558-24-2108

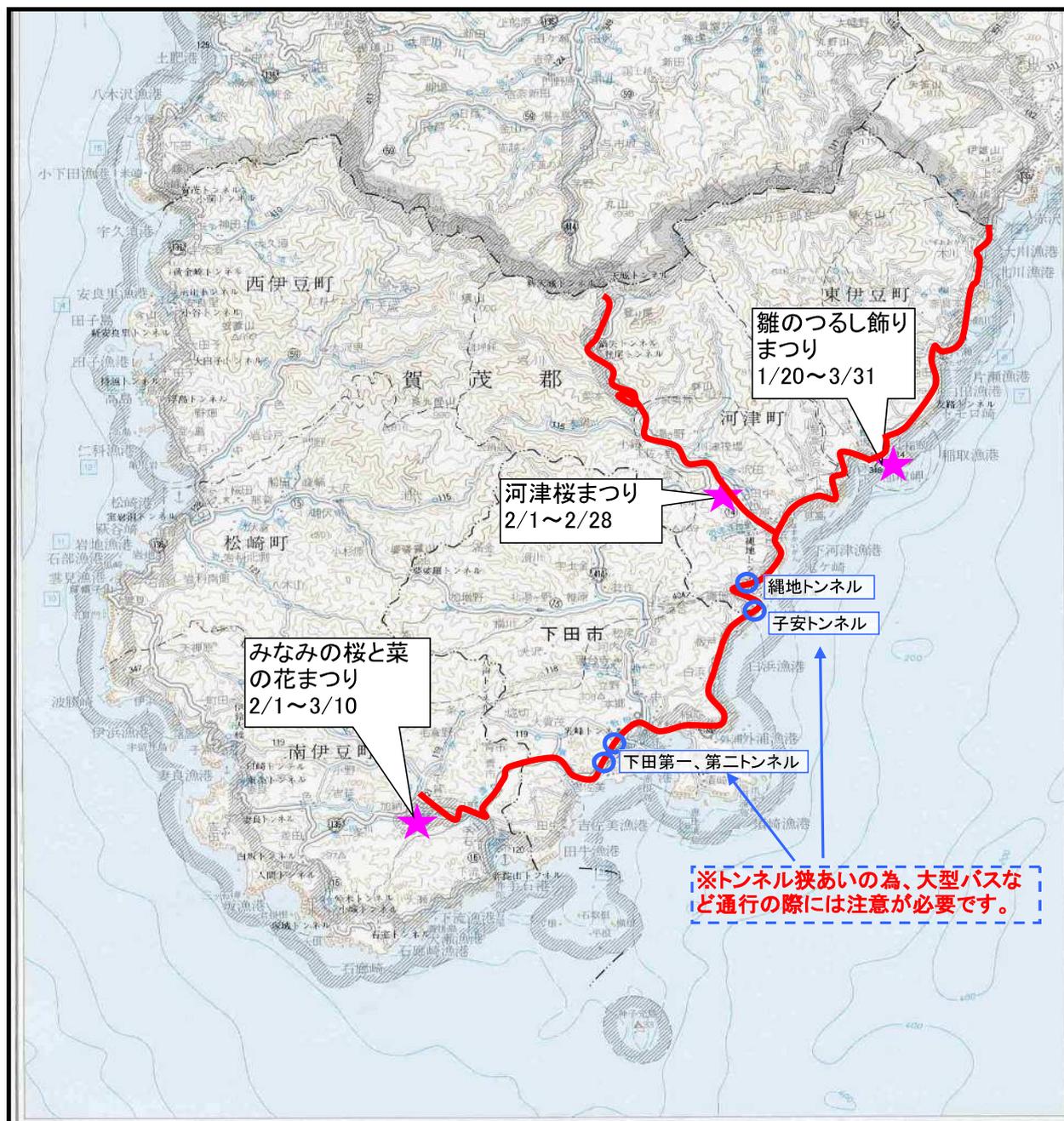
春季観光イベント期間における道路工事の自粛について(お知らせ)

下田土木事務所では、交通量が増大する春季観光イベント期間の渋滞対策として、下記路線にて道路工事を自粛します。
道路利用者及び道路工事関係者の皆様につきましては、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

<期間> 令和7年2月1日(土) ~ 令和7年2月28日(金)

<対象路線> * 下記赤色着色路線

- ・国道 135号 (下田土木事務所管内全線)
- ・国道 136号 (下田市中島橋交差点~南伊豆町下賀茂交差点)
- ・国道 414号 (新城トンネル~下佐ヶ野交差点)
- ・県道 下佐ヶ野谷津線 (全線)
- ・県道 稲取停車場線 (全線)
- ・県道 稲取港線 (全線)



* なお、上記内容は天候及び緊急工事(占用工事を含む)などにより変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先
〒415-0016 下田市中531-1
静岡県下田土木事務所
担当:維持管理課
電話:0558-24-2108